

2017アンケート結果 (大倉山どろっぴ)

実施期間：2017年12月～2018年1月
回答数：127

利用者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。みなさまからいただいた貴重なご意見は、今後の運営に活かしていけるよう、スタッフ、港北区役所、関係機関、そして利用される皆さんと一緒に考えていきます。アンケート集計の全容は館内に閲覧用ファイルを用意しており、HPでも公開しています。

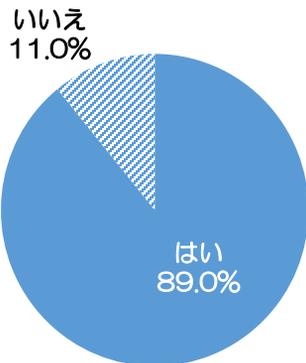
Q；どろっぴにいる時、「手を貸してほしい」と、周りにいる人にお願ひできますか？

周囲の人に「手を貸してほしい」とお願ひできる人は昨年（82.0%）と比較し、多少増えていました。一方で、お願ひができない人と回答した人も1割強いました。

『自分の子どものことは自分でやらなければいけないという気持ちがあるから』
『自分で抱えがち』

お子さんを自分が見守らなきゃという思いは、他人に迷惑をかけたくないという、責任ある気持ちから生じるのかもしれませんが、でも、実はお手伝いしている側が、お子さんを抱っこできて嬉しかったり、同じ思いを共有できて助けられたりしていたりもするんです。声を掛けてもらったことや、頼ってもらえたことが、嬉しいということもありますよね。

よかったら、これまで一人で解決していたことを、周囲と一緒にやってみませんか？どろっぴが大切にしている思い、それは“子どもが真ん中、みんなで子育て”です。是非あなたにも、その輪の中で、一緒に子供たちを見守っていただきたいと、どろっぴは考えています。



ひとりで頑張すぎないで！

『スタッフには言えるがよそのお母さんには頼みづらい』
『友達なら言えるが他人にはまだ難しい』
『男だから』

『知らない人だと難しい』
『人見知りのため』
『声かけづらくて引っ込み思案のため』



まずはお願ひしやすいことから

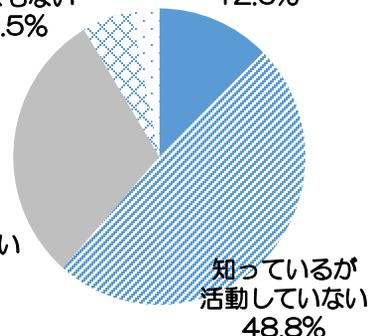
知らない人と会話するだけでも緊張するのに、お願ひをするなんて・・・でも、どうかあまり構えずお願ひしやすい事から頼んでみてください。頼んでみると、自分でやりきるよりも、楽だなと感じるはずですよ。スタッフやボランティアさん、他の利用者さんは、あなたのお子さんを抱っこすること、遊ばせてもらうこと、あなたと話すことを、いつも楽しみに待っています。

Q；どろっぴに会員登録している利用者で、ひろばのお手伝いや、他の親子への声掛けをする「親子ボランティア」としてあなたも活動してみたいですか？

どろっぴを支えてきてくれた利用者によるボランティア、親子ボランティアは2018年度より新たに「monaka（もなか）」として生まれ変わりました。

毎月2回程度、活動日を決め、お花の世話、野菜の収穫、折り紙、飾り作り、絵本の修理、季節行事の準備、ハンドメイド、月間通信@どろっぴの翻訳など、皆さんの活動しやすい作業に参加してもらえようお待ちしています。できるときだけで大丈夫。知らないが活動してみたいという方だけではなく、興味がない方も、よかったら一度、顔を出してみてください。

知らないし興味もない 5.5%
その他 3.1%
登録している 12.6%

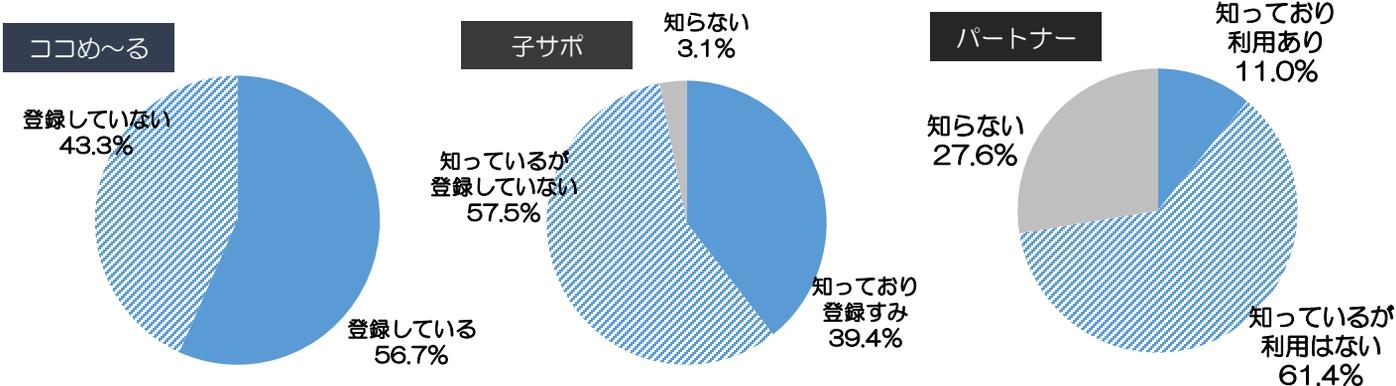


知らないが活動してみたい 89.0%

知っているが活動していない 48.8%



Q: 「ココめ〜る」「子育てサポートシステム」「横浜子育てパートナー」を知って（登録して）いますか？

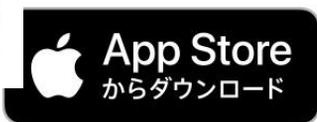


ココめ〜るを登録している方は5割、子育てサポートシステムを知っている方は9割を超え、どろっぷを利用する中でこうした地域の子育て支援に関するサービスへの認知も広がる傾向が伺えます。ココめ〜るはH30年度より、ココアプリに移行していますので、以下のQRコードからアプリのダウンロードをお願いします。

利用者支援事業「横浜子育てパートナー」は、利用者の子育てに関する個別相談や、家庭の状況やニーズに合った支援制度の案内、選択の支援、関係機関への仲介等により、制度・施設等の円滑な利用を支援する専任スタッフです。スタートから2年が経過し、7割以上の方に知っていただける存在になっています。どろっぷ/どろっぷサテライトでは、パートナー（専任スタッフ）だけではなく、臨床心理士による専門の相談もありますし、ひろばにいるスタッフもみなさんの悩みを聞くことができます。どうぞお気軽に遠慮なく「聞いてください!」とお声がけ下さい。

子育て情報をアプリでお届け

ココアプリ



自由記述欄から～

『いくつかの自治体の子育てひろばを利用したことがあります。他のひろばは子どもを遊ばせる場、それに比べてどろっぷは、子どもだけではなく親もまるっとみてくれる場所で、そういうところが良いと思います。』

どろっぷでも、子ども達が真剣に遊びこめる場づくりを大切にしています。

子供が遊びこめる場は、親にとっても居心地の良い場であるはず、

ひろばを作るのは、利用者の皆さん自身です。

こうしたいがあれば、すぐに教えてください。

『既にお母さんたちグループができてることが多い気がして、怖気づいてしまうことばあります。』

輪の中に入れる？と不安ながらも、どろっぷに来てくださった皆さんに感謝しています。ひとりでも気軽に来れるそんな場所づくりができればと思いがあり、『monaka』自主活動の日を増やしました。大人にとっても遊び＝無心になれる時間があるといいですね。ご自身の面白そうと思える時間を目指してきていただけたら嬉しいです。

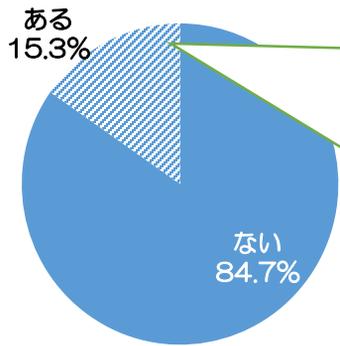
どろっぷに来て下さるみなさん、Sボランティア、学生ボランティア、親子ボランティア、サポーターなど、それぞれの状況や立場は違っても「子どもがまん中、みんなで子育て」を合言葉に、これからも、お子さん一人一人の個性をあたたく包み込みながら、成長を見守りたいと思っています。お互いに声をかけ合いながら、今できることを出来る範囲でやったり、次の世代へバトンをつないでいたり、皆さんそれぞれが持っている力をこれからも貸していただいで、一人でも多くの方の居場所となってほしいと思っています。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

2017アンケート結果 (綱島サテライト)

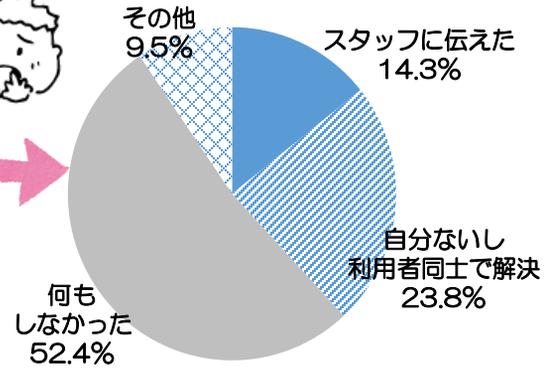
実施期間2017年12月～2018年1月
回答数：137

利用者アンケートにご協力いただき有難うございました。今後の運営に生かしていけるよう、スタッフ、港北区役所、関係機関、そして利用される皆さんと一緒に考えていきます。アンケートの全容はHPに掲載するとともに、ひろばにも閲覧用ファイルを配架しています。

Q：どろっぴサテライトにいる時に困ったことはありますか？



「困ったことがある」の中には、「子ども同士のトラブル」「自分のトイレの時に少しだけ子どもを預かってほしかった」「何でもない時に行くと、どこにいればいいのか分からず居場所がない」「混んでいる」といった声が聞かれました。



困ったことがあると回答した方の割合は、昨年の結果（8.9%）と比較して増加しました。サテライトも2年目。困りごとの内容も様々になってきました。

『大きな子が自分の子を叩いた時の対応が分からなかった』

手を出されてしまう子、手を出してしまう子、親はどちらの立場でもモヤモヤしてしまいますよね。そんな時はスタッフに気持ちを話してください。家に帰ってからも気になるようであれば、電話していただいても構いません。困った時の解決では「利用者同士で、自分も居づらかったという意見があったので救われた」という回答がありました。子どもたちの関わりをどう見守っていくか、親同士ゆっくり話せる機会もひろばの中で作っていきます。

モヤモヤは
持って帰らないで！

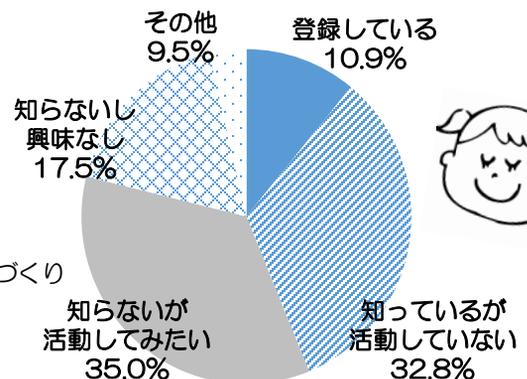
みんな同じです！

『最初に来た時に、既に仲良しの輪ができて印象があり、次回来るのをとまどった』

混んでいるひろばの中で、誰からも声をかけられないと、居場所が見つげづらいですね。子の月齢が近い、ご近所・・・といった共通点から、他の利用者と知り合って頂けるようにお繋ぎしていきます。まずは受付やひろばでスタッフと話したりしながら過ごしてみてくださいね。

Q：利用者のボランティア活動「MOMO」をご存知ですか？

H29年度に発足したMOMOは、絵本や手芸、お庭づくりやひろばの環境づくりなど、様々なかたちで活動しています。活動中はうちの子も他の子どもたちはまるっとお互い保育。どろっぴの大切にしている姿です。興味のある方はどなたでも大歓迎、スタッフにお声がけくださいね。



Q；「ココめ〜る」「子育てサポートシステム」「横浜子育てパートナー」を知って（登録して）いますか？

ココめ〜る

登録していない
49.6%

登録している
50.4%

子サポ

知っているが
登録していない
63.5%

知らない
1.5%

パートナー

知っているが
登録済み
35.0%

知らない
35.8%

知っている
利用あり
2.9%

知っているが
利用はない
61.3%

ココめ〜るは、港北区内を中心とした子育て情報のメールマガジンですが、H30年度よりアプリ（ココアプリ）に移行しました。これまでのように他のメールに埋もれることもなし、お気に入り登録やカレンダー表示も可能です。ココめ〜るに登録していた方も、改めてアプリのインストールをお願いします（下記QRコード）。

子育てサポートシステムはお子さんの預かりサービスです。「知らない」方が昨年（17.0%）から減りました。気になっているけれど登録していない方は、まずは説明会に参加してみてください。子サポのおためし保育も実施しています。

横浜子育てパートナーは、利用者の子育てに関する個別相談や、関連制度・施設等の円滑な利用を支援する専任スタッフです。H29年度よりサテライトにも専任スタッフが常駐したこともあってか、存在を知っている人が6割を超える（昨年は2割強）結果となりました。子育てパートナーへの相談は、来館での対面相談だけに限らず、電話でも可能です。子育ての中で困ったことや不安を感じることがあった場合には、気楽な気持ちで相談してください。

子育て情報をアプリでお届け

ココアプリ



自由記述欄から～



『広々として子どもも遊びやすい。沢山のおもちゃも魅力。知り合いがいると安心するが、いない時子どもをきっかけに話しやすい。』

お友達同士で来館しなくても、ふらっと立ち寄れば誰かがいて、話しかければ笑顔で応じてくれる。サテライトはそんな居心地の良さを目指しています。お子さんきっかけだと初めての方とも話しやすいですね。あまり構えずに足を運んでみてください。

『授乳室が寒いです。』

『床が汚れていて不衛生だと思うことがある』

『砂場から戻るとき足洗タオルが常備されないのは面倒かも』

子供たちがのびのびと過ごせるように、ひろばの環境づくりには気を留めています。気になる点もあるかと思いますが、いただいたご意見は今後のひろばづくりに反映させていただきます。利用者の皆さんの目線で“もっとこうしたほうがいい”と思うことがあれば、気兼ねなくスタッフにお声がけください。

本年4月に実施したサテライト2周年の地域イベント「ぐるっとまるっと」では、地域の方、Sボランティア、利用者ボランティア（MOMO）、中高生ボランティア等がブースを出展し、盛り上げてくれました。地域の方への御礼の気持ちは、スタッフだけではなく、普段からサテライトを支えてくださる皆さんと一緒に表現していくものなのだと改めて気づかされました。

どろっぷが大切にしたい思い、それは「子どもが真ん中」を合言葉に、集う人皆でひろばを創り上げていくことです。皆さんが持っている力を貸してください。「こんなことやってみたいな」という思いを臆せず発信してみてください。私たちスタッフはそのパワーを皆さんに還元していきたいと考えています。